

分科会の設置とメンバー募集（案）

2013.10.28

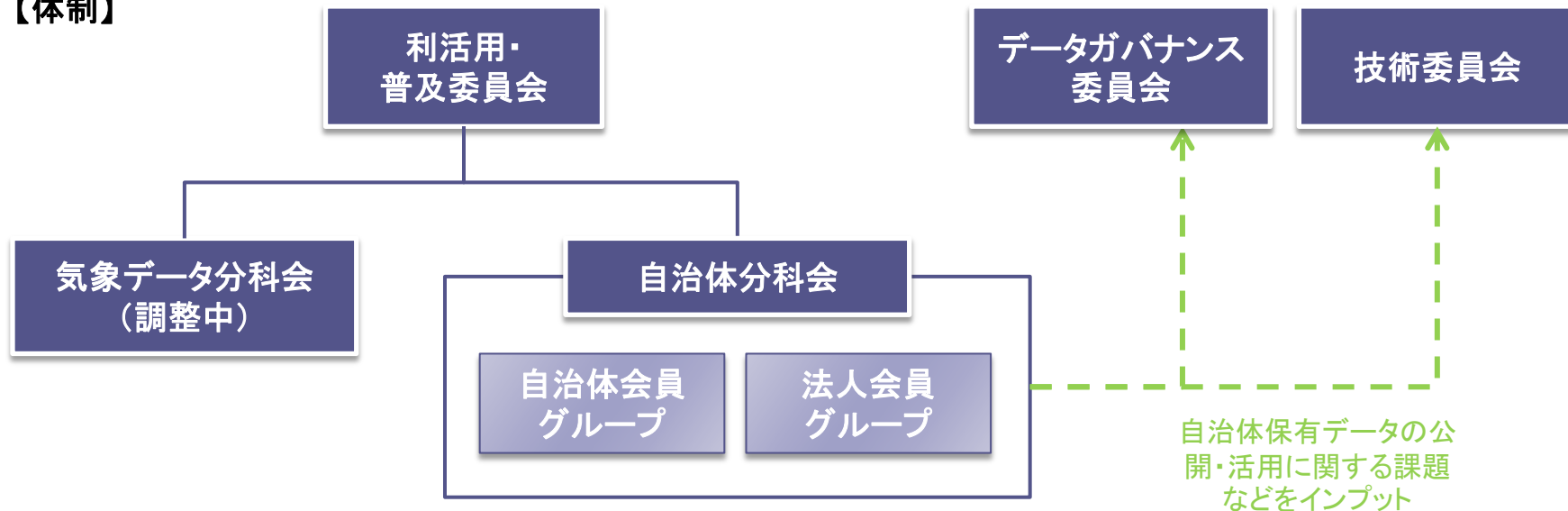
オープンデータ流通推進コンソーシアム



1. 分科会の設置

オープンデータ流通推進コンソーシアム会員が主体的にオープンデータに関する検討を行う場を提供するため、利活用・普及委員会の下に分科会を設置する。

【体制】



【参加方法】

参加を希望する会員は下記情報を記載の上、事務局 (opendata-c@mri.co.jp) までご連絡ください。

- 参加を希望する分科会名
- 団体名
- 分科会参加者(各団体代表者を1名決めてください)
- 分科会参加者連絡先(メールアドレス、電話番号)
- 分科会で果たす役割とアウトプット

2. 自治体分科会

(1) 設置の目的

自治体が保有するデータのオープンデータ化を推進するとともに、自治体データを活用したオープンデータに関するビジネスモデルを検討する。

(2) 検討内容

総務省の「情報流通連携基盤の自治体行政情報における実証」と連携し、各自治体における同一項目の情報のオープンデータ化を試行し、可能性や課題を明らかにし、技術委員会・データガバナンス委員会にインプットする。実証実験で行われる情報サービスの開発コンテストへの参加や、開発コンテストで作成されたアプリケーションへの評価を通じ、自治体が提供するオープンデータを活用したビジネスモデルを検討する。

(3) 想定されるアウトプット

- 各自治体で公開される統一フォーマットに則った自治体情報
- 統一フォーマットで公開された自治体情報を活用したアプリケーション
- 開発された自治体情報を活用したアプリケーションを自社ビジネスに活用する場合の評価・検討

(4) 分科会開催方法

- メーリングリストを活用した分科会メンバーによる議論
- 議論の進捗に応じて集合形式での会合の実施

(5) 参加資格

以下の条件を履行できること。

自治体会員	「情報流通連携基盤の自治体行政情報における実証」と連携し自治体が保有するデータの公開方法の検討を行うこと。
法人会員	情報サービスの開発コンテストに参加しアプリケーションを開発すること、または、開発されたアプリケーションを自社の事業(新規事業分野含む)で活用するためのビジネスモデルペーパーを作成すること。

3. 気象データ分科会（調整中）

(1)設置の目的

気象データの民間活用促進。

(2)検討内容

気象庁の協力を得て、気象データの民間活用ニーズやビジネスモデル、活用促進に向けた課題と解決策などを検討する。

詳細は、今後気象庁との協議の上、決定する。

(参考) 自治体実証の概要

H25年度オープンデータ実証実験(例) 自治体行政情報

- ユーザーニーズに基づいた自治体版の「情報流通連携基盤システム」を構築し、広く地方公共団体に普及展開できるモデルを策定する。
- 広く普及展開可能なモデルを構築するためには、単に基盤システムを構築するだけでなく、情報流通連携基盤システムの設計思想のドキュメント化、ニーズの高い自治体行政情報の特定、ポータルサイトの構築、自治体職員向けの補助ツールの整備、情報サービスの構築によるメリットの可視化等を1つのパッケージとして整備する必要がある。

実施主体: エヌ・ティ・ティ・データ (LODイニシアティブ、日本マイクロソフト、インディゴ、jig.jp)
 連携主体: 横浜市、鯖江市

